

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	関東学園大学			設置者名	学校法人 関東学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済	経済学科	150人	中一種免(社会)	昭和53年度	69人	2人	2人	0人
			高一種免(公民)	平成2年度			1人	
			高一種免(商業)	平成2年度			0人	
	経営学科	200人	中一種免(社会)	平成8年度	92人	1人	0人	0人
			高一種免(公民)	平成2年度			1人	
			高一種免(商業)	平成2年度			0人	
			中一種免(保健体育)	平成19年度			0人	
			高一種免(保健体育)	平成19年度			0人	
入学定員合計		200人	合計		161人	3人	4人	0人
大学名	関東学園大学(大学院)			設置者名	学校法人 関東学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学	経済学	10人	高専修免(公民)	平成6年	9人	0人	0人	0人
入学定員合計		10人	合計		9人	0人	0人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年10月29日（木）

実地視察大学：関東学園大学

実地視察委員：横須賀薫委員、岸田正幸委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

・大学においては2学部3学科、大学院においては1研究科で教員養成を行っている。特に経済学部経済学科においては平成19年度より保健体育科の教職課程を設置しており、来年度（平成22年度）に当該課程を履修している学生の初めての卒業年次となる。

### <講評>

・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

・敬和（人を敬い、人と和する）・温順（おだやかで、すなおに）・質実（かざりけなく誠実に）の品性と自主創造の気風の中での人間形成を尊重し、社会に貢献できる人材を育てようとする「学徳一体の人間教育」を建学の精神・理念としており、教職課程においても、この精神・理念に則り、地域社会に貢献する教員として必要なコンピーテンシーを身につけた教員を養成することを教育目標としている。

・特に経済学部経営学科においては、スポーツマネジメントコースを設置することにより、社会科学を基礎とし、スポーツを切り口とした経営原理、組織、戦略、マーケティング、情報といったマネジメント能力を持ち、かつ生涯スポーツ社会の実現に向けて広い視野をもつ保健体育科教員の養成を目指している。

### <講評>

・教員養成に対する理念や構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めてほしい。特に、教員養成に対する理念や構想を教員が明確に共有することや、専任教員をさらに拡充するなど、教員組織を充実させることが必要である。また、保健体育科の教職課程を履修している学生が来年度（平成22年度）に初めての卒業年次となるため、当該課程を射程に含めた教育課程をさらに充実させることが求められる。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

・教職に関する科目の実施にあたっては、模擬授業を積極的に取り入れるなどの工夫が見られる。今後は、このような工夫の他にも、学生自身の表現力を引き出すような授業など、さらに組織的意識的な授業実施に努めてほしい。

・授業内容欄を「〇回～〇回」とまとめて記載しているシラバスについては、各回

のキーワードを明記してほしい。

・出席を評価に加えている授業があるが、原則として授業に出席することが通常のため、出席を評価に加えないでほしい。

・授業計画の15回分の中において、「中間試験」や「期末試験」のみを扱う授業を設けないでほしい。

・「各教科の指導法」について、「学習指導要領」を使用していない授業が散見されるため、テキストまたは参考書において必ず各教科の「学習指導要領」を明記してほしい。

・授業科目「教職論」について、各科目に含めることが必要な事項である「身分保障」及び「進路指導に資する各種の機会の提供等」がどの授業において取り扱うのかが不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正してほしい。

・授業科目「教育原理」について、各科目に含めることが必要な事項である「教育の理念」がどの授業において取り扱うのかが不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正してほしい。

・授業科目「教育相談」について、各科目に含めることが必要な事項である「カウンセリングに関する基礎的な知識」がどの授業において取り扱うのかが不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正してほしい。

## ■ 教育実習の取組状況

<状況>

・基本的には出身校において実習を行っている。それができない学生については、附属学校で行うように配慮している。

<講評>

・平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」では、教育実習においては、課程認定大学と実習校の協力により、授業案を作成したり、教材研究の指導を行うなど、大学の教員と実習校の教員が連携して指導に当たる機会を積極的に取り入れることが必要である。また、実習実績の評価についても、適切な役割分担の下に、協働して行うことが適当であるが、その場合には、実習校により評価にばらつきが生じないように留意する必要がある。

・母校実習については、平成18年7月答申において、大学側の対応や評価の客観性の確保の点で課題も指摘されているため、できるだけ避ける方向で検討してほしい。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

・基礎科目「トレーニング演習」の一環として、授業で学習した知識を活かし、スポーツ振興財団や幼稚園へ出向き、子どもたちのスポーツ指導をしている。

・おおた100km徒歩の旅推進協議会主催の「おおた100km徒歩の旅」のボランティアスタッフとして学生が多く参加している。

・地元のスポーツ振興財団等と連携し、地域のジュニア層のスポーツ強化育成協力をしている。

・地元自治体の放課後子ども教室へ学習支援員として参加している。

・学生プロジェクト企画として、地元自治体の小学生を対象に「キッズ・ゴルフスクール」を開催し、地域社会との交流を図っている。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <状況>

- ・ 教員免許状取得のための履修方法、科目開設状況等を「教職課程履修の手引き」に掲載して学生に配布している。
- ・ 各学年ごとにオリエンテーションを実施し、科目修得方法について指導を行っている。

### <講評>

- ・ 来年度（平成22年度）に保健体育科の教職課程履修者が初めて教育実習に取り組む年次となる。保健体育科の教職課程履修者は、保健体育科を除く従来の教科種（社会・公民等）の教職課程履修者よりも大幅に増加しているため、現在の履修体制のままでは不十分である。「教育実習の手引き」を作成することや、大学周辺の学校や教育委員会との連携を更に積極的に図るなど、指導体制を抜本的に見直す必要がある。
- ・ 保健体育科の教職課程履修者を増やすだけでなく、保健体育科を除く従来の教科種の教職課程履修者も増やすように努めてほしい。

## ■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

### <状況>

- ・ 全学的な組織として「教職課程指導委員会」を設置し、教職課程にかかる全般的な企画や検討を行うなど、2学部3学科の教職課程全体を統括している。また、「教職課程指導委員会」の下に「各教科の分科会」と「教育実習指導委員会」を設置し、教職課程履修者に対して教科教育法等を指導したり、教育実習の資格審査を行っている。

## ■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

### <状況>

- ・ グラウンドや体育館を複数有しており、体育関連施設は非常に充実している。
- ・ 情報機器の導入に力を入れていることは評価できる。

### <講評>

- ・ 図書館については、指導書や教科書を置くなど、更なる充実を図ってほしい。